

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

1-⑤

施策

安心とゆとりをもって、楽しく子育てできる環境を整える

担当部局

保健福祉局，教育委員会

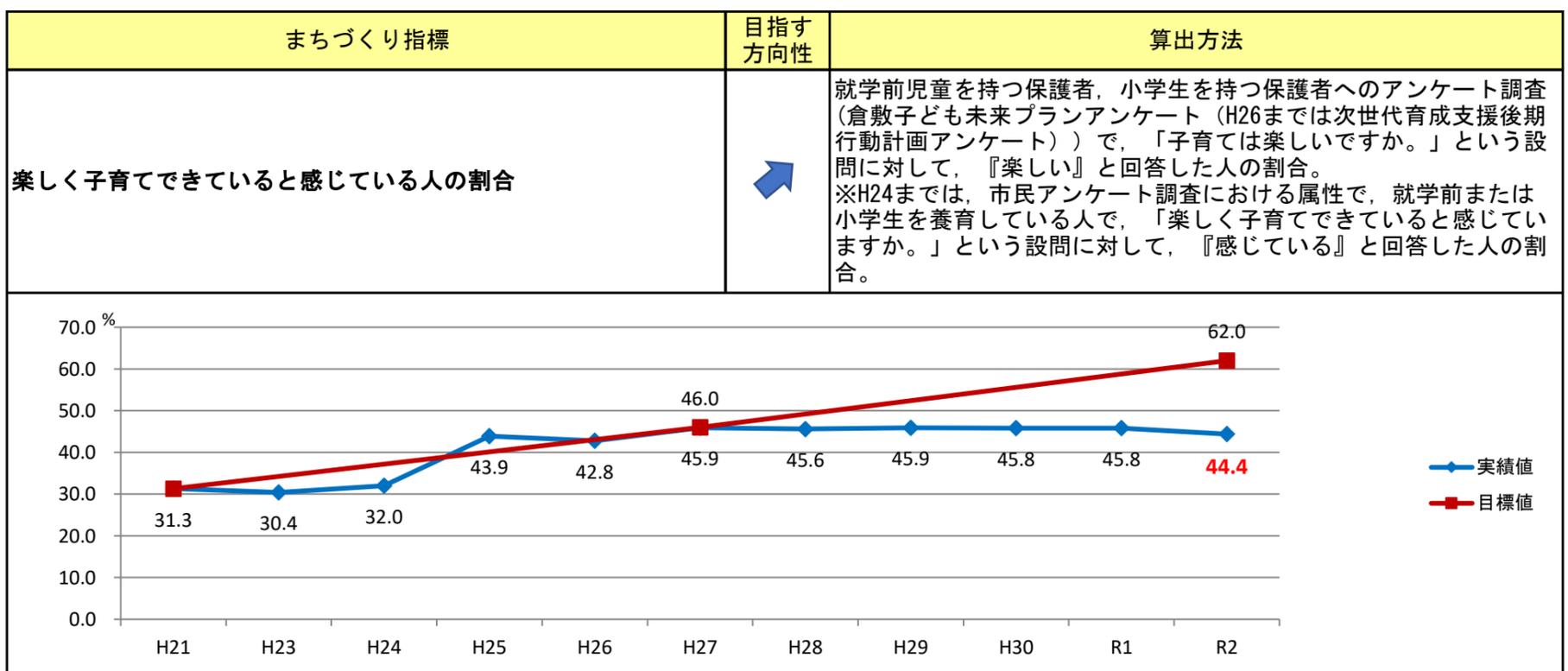
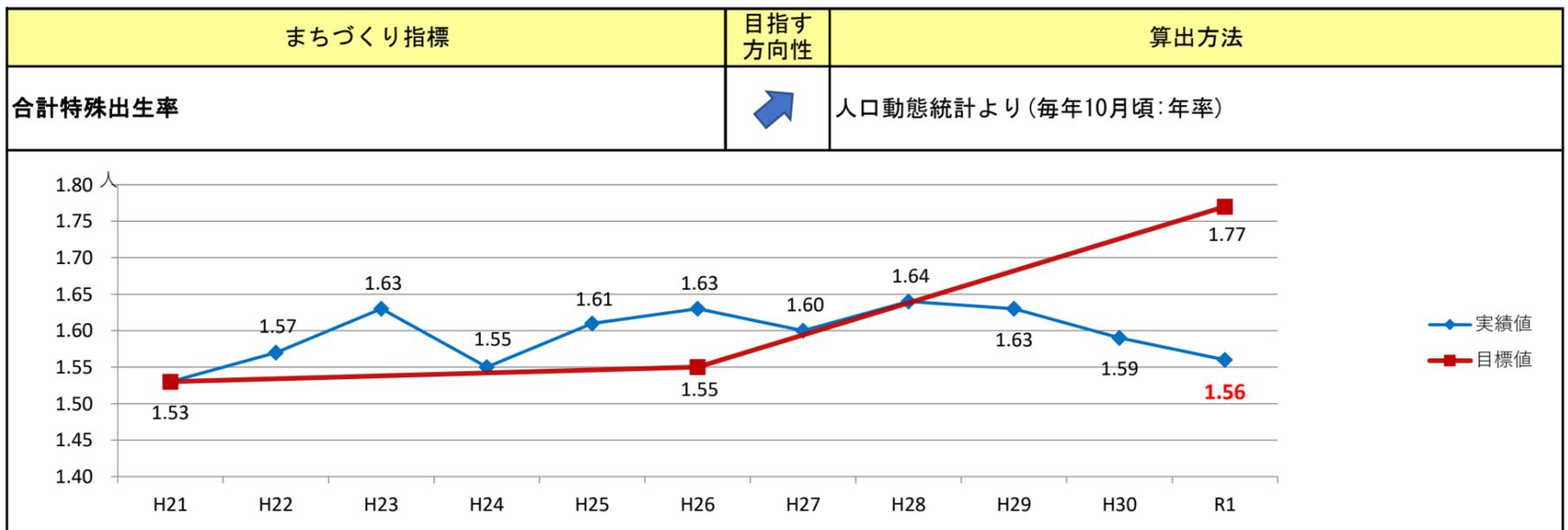


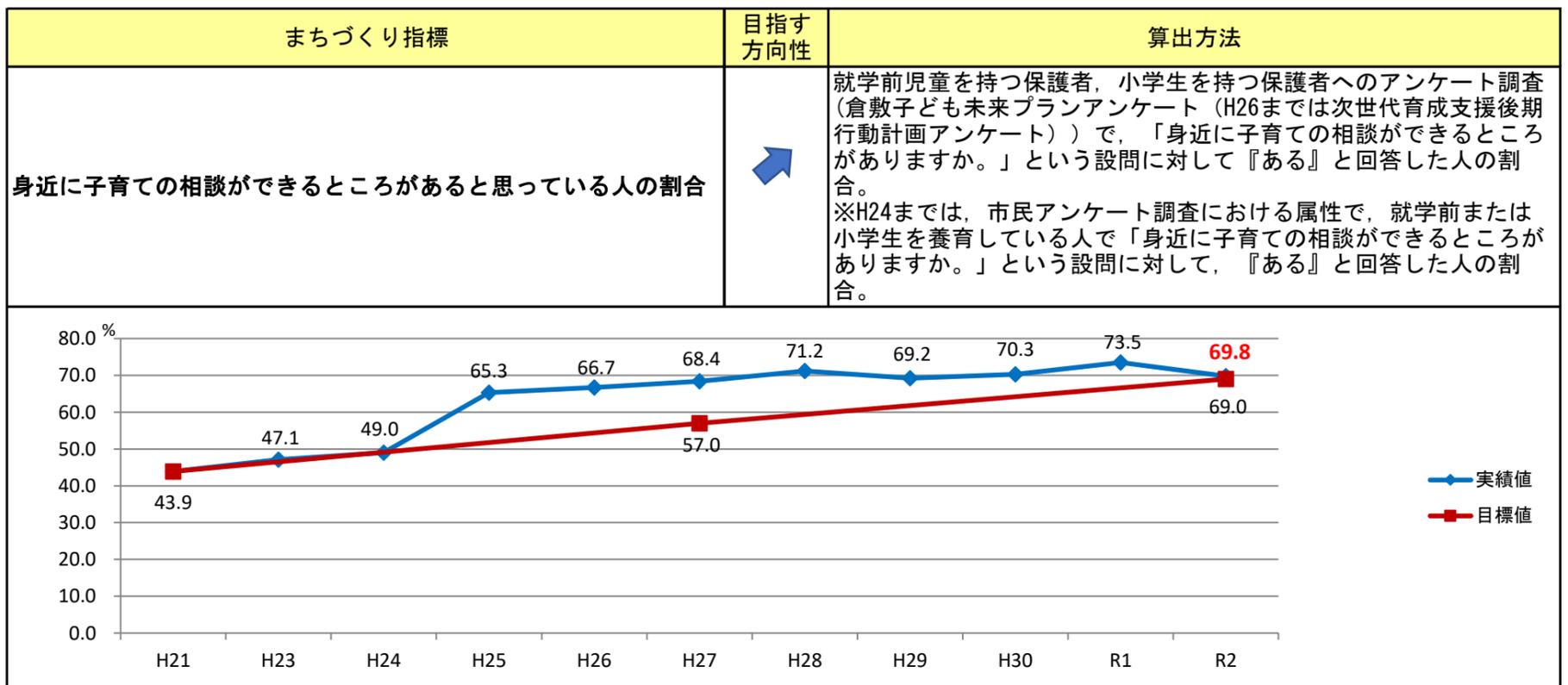
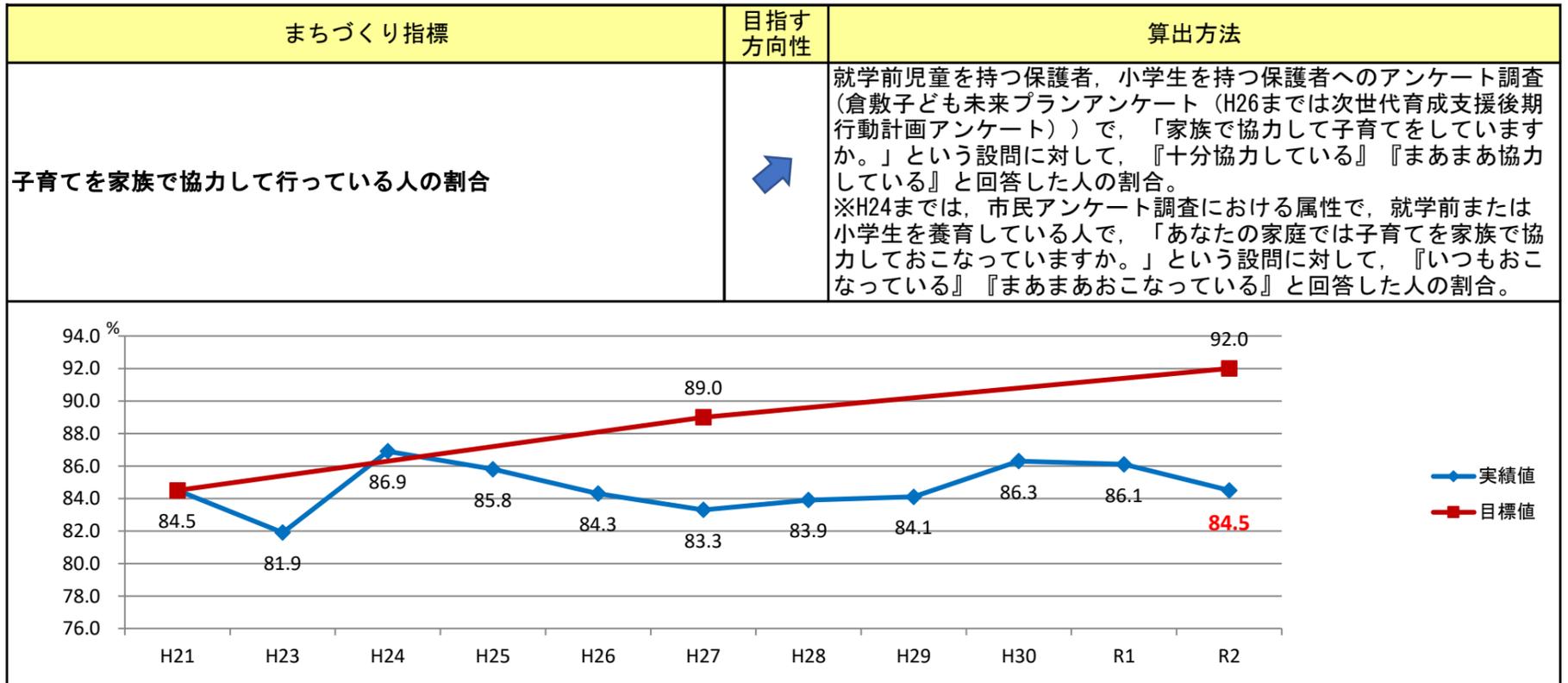
【はぐくみ】 めざすまちの姿 安心とゆとりをもって子育てを楽しんでいる

市の基本方針

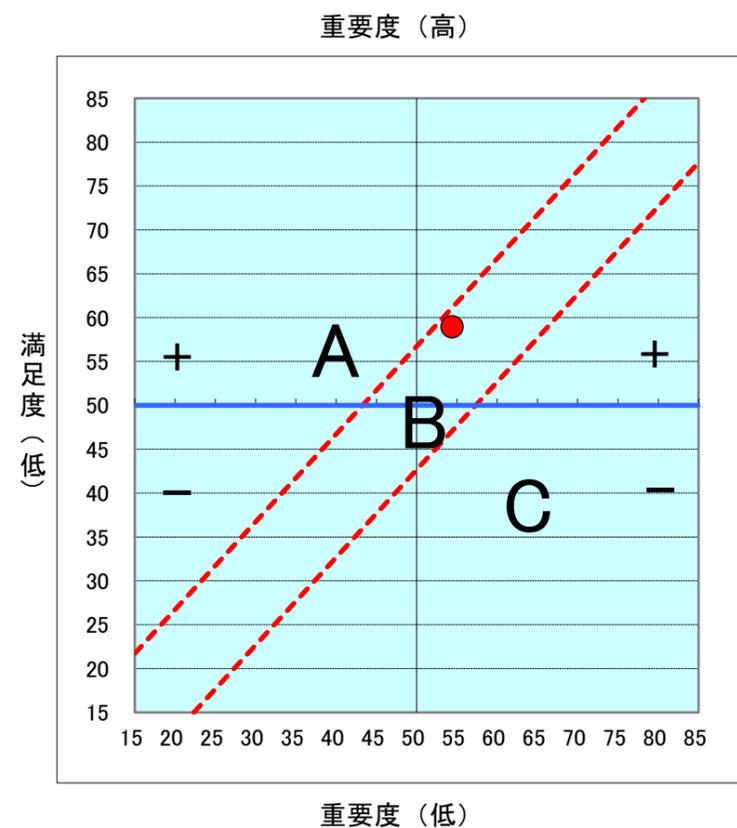
- 妊婦が妊娠中を健康に過ごし、安心して出産に臨める環境を整えます。
- 子育てに関する情報提供や相談体制を充実するとともに、親子や親同士の交流や子育ての仲間づくりを促進します。
- 家族と一緒に楽しめる機会の提供や、男性の育児参加の促進などにより、家族で協力して子育てができる環境を整えます。
- 保育や医療，教育など，子育て家庭等の経済的負担を軽減し，安心とゆとりをもって子育てできる環境を整えます。
- 関係機関との連携を強化し，ひとり親家庭が抱える悩みや相談ごとに対応できる体制を整えます。また，生活支援や経済的支援を行い，ひとり親家庭の生活の自立と安定を図ります。

数値目標





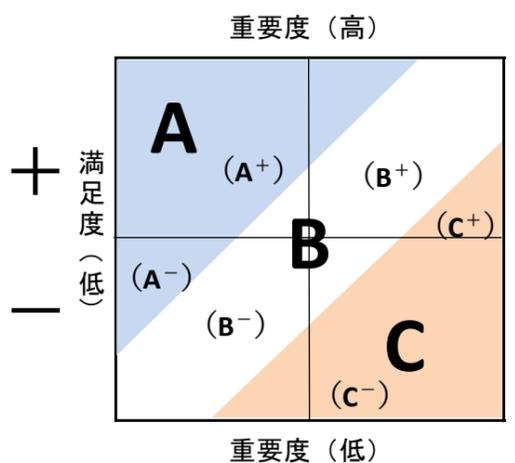
市民の重要度・満足度（R3.5アンケート調査結果）



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B ⁺	58.96	54.40

●重要度に見合った満足度が得られている (B)
●重要度が平均値より高い (+)

【グラフの見方】



- A : 重要度に見合った満足度が得られていない領域
 - B : 重要度に見合った満足度が得られている領域
 - C : 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域
- ※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割 (3×2領域)
+ : 重要度が平均値より高い部分
- : 重要度が平均値より低い部分
- A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻
- A⁺ : 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
創	妊婦乳児健康診査事業	(Ⅰ) 妊婦及び乳児の健康増進を図ることを目的とする。 (Ⅱ) 妊婦健診(14回)、乳児健診(満1歳までに3回)の受診を公費負担した。延べ受診者数は、妊婦健診が45,448人、乳児健診が11,018人であった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	464,926
創	産婦健康診査事業	(Ⅰ) 産後うつを予防し、産婦の健康増進を図ることを目的とする。 (Ⅱ) 産婦健診(産後8週までに2回)の受診を公費負担した。延べ受診者数は、5,974人であった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	32,967
創	特定不妊治療助成事業	(Ⅰ) 不妊症の夫婦の特定不妊治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。 (Ⅱ) 令和3年1月より助成上限額を15万円から30万円、7万5千円から10万円へ引き上げたほか、所得制限の撤廃、事実婚の夫婦も対象とした。助成件数は684件、うち男性不妊治療を行ったものが3件であった。 (Ⅲ) 治療費が保険適用となった場合は、制度内容を検討する。	126,084
	妊婦面接	(Ⅰ) 妊娠・出産・育児の相談指導と母子保健サービスの情報提供を目的とする。 (Ⅱ) 面接実施人数は4,005人であった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	-
	パパママセミナー	(Ⅰ) 夫婦で協力して子育てに取り組む心構えや出産育児に関する保健指導を実施する。 (Ⅱ) パパママセミナーは4回実施し、152人(77組)の夫婦が参加した。※感染拡大防止のため10月まで中止していた。 (Ⅲ) 継続して実施する。	-
	幼児健康診査事業	(Ⅰ) 健康診査や保健指導を行い、幼児の健全育成を図ることを目的とする。 (Ⅱ) 受診者数は、1歳6カ月児健康診査が4,006人、3歳児健康診査が4,121人であった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	22,422
	妊婦歯周病検診事業	(Ⅰ) 妊婦の口腔の健康増進及び乳児の口腔の健全育成を目的とする。 (Ⅱ) 検診受診数は、1,706人 (Ⅲ) 継続して実施する。	7,655
創	産後ケア事業	(Ⅰ) 母体管理及び育児指導等を行い、母子の健全育成を図ることを目的とする。 (Ⅱ) 宿泊型が249件、日帰り型が246件であった。 (Ⅲ) 令和3年度より、利用対象期間を延長し、継続して実施する。	8,016
	市民病院繰出金(周産期医療)	(Ⅰ) 常勤産婦人科医師を複数配置し、地域の出産環境の向上を図る。 (Ⅱ) 分娩件数96件 (Ⅲ) 継続して実施する。	39,235
公創	子育て世代包括支援センター運営事業	(Ⅰ) 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の充実 (Ⅱ) 相談室利用4,135件、相談専用ダイヤル利用1,679件、来所相談2,716件であった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	26,471
	子ども家庭総合支援拠点運営事業	(Ⅰ) 専門職の助言指導やサービス提供により、児童の適切な養育を図る。 (Ⅱ) こんにちは赤ちゃん訪問4,243件、養育支援訪問1,335件、赤ちゃん相談ダイヤル225件、産じょく期ヘルパー派遣156回、ショートステイ延177日など、子育て支援に関する情報提供や必要なサービス提供を行った。 (Ⅲ) 子育て中の保護者の孤立化を防ぎ、安心して子育てができるよう、継続して実施する。	107,400
創	地域子育て支援拠点事業 子育てカレッジ事業	(Ⅰ) 地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。 (Ⅱ) 地域の子育て親子が気軽に集い、交流できる場として、地域子育て支援拠点を市内20カ所に設置し、年間117,778人の利用があった。(玉島児童館3階のつどいの広場の利用者数は除く。)また、母親や乳幼児だけでなく、父親等が参加できるイベント等、それぞれの拠点事業実施者の特性を生かしたイベント、講座等を、各拠点において月に1回以上実施するなど、父親の育児参加や、地域で子育てを支援する機運の醸成に寄与した。さらに、13カ所の地域子育て支援拠点においては、地域の子育て支援団体とのつながりを生かした地域支援事業を実施し、地域の課題解決に継続的に取り組んだ。 (Ⅲ) 継続して実施する。	255,042
	子育て力向上事業	(Ⅰ) 子育てを支えている市民・団体間のつながりを強め、各地区の特性を踏まえた子育て支援風土を醸成すること及び各家庭の子育て力を向上することを目的に、子育てを支えている団体等が一堂に会し、情報交換、情報共有する「子育てcafe」を開催する。 (Ⅱ) 例年は地域子育て支援拠点事業を中心に「子育てcafe」でつながりができた団体同士が協働し、地域支援に取り組みむなどの成果が見られるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を中止した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	4

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	子育てサロン推進事業	(Ⅰ) 子育て親子が自由に集まり、交流や仲間づくりを行い、地域の触れ合いの中で子育てを楽しめるよう、各団体が月1回程度実施している。 (Ⅱ) 補助金交付団体は13団体、延べ開催数64回、延べ利用者数1,044人であった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	311
	家庭教育学級開設事業	(Ⅰ) 家庭の教育力向上を目的に、保護者を対象に家庭教育学級を開設した。 (Ⅱ) 地域団体10団体と幼稚園3団体の合計13団体に家庭教育学級を開設した。子育てに関する講演会や、参加者同士が意見交換しながら家庭教育を学ぶ講座など、46講座を開講し、延べ2,007人が参加した。 (Ⅲ) 家庭教育に関心が薄い保護者の参加を増やすよう工夫しながら、継続して実施する。	1,075
	子育て広場開設事業	(Ⅰ) 子育ての不安や悩みを解消し、楽しく子育てできることを目的に、就園前の乳幼児とその保護者を対象とした「子育て広場」を開設した。 (Ⅱ) 幼稚園等10カ所で開設。191回実施し、延べ3,561人の親子が参加した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,982
	子どもセンター事業	(Ⅰ) 情報誌の発行や子育て支援情報の発信により、家庭教育を支援する。 (Ⅱ) 情報誌「パワフルキッズ」を年4回発行し、各種イベント情報等を周知したほか、親子で楽しめるイベントを年3回開催し、合計262人が参加した。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回イベント中止) (Ⅲ) 親子の体験活動の場の提供に努め、継続して実施する。	2,830
	児童センター・児童館運営事業	(Ⅰ) 児童が安心して安全に過ごせる居場所を提供し、遊びを通じて、児童の健康を増進することを目的に実施した。 (Ⅱ) 市内6カ所の児童センター・児童館で、子育て支援事業や児童育成事業、季節行事などを通して児童に健全な遊び場を提供し、年間107,805人の利用があった。また、母親クラブ(16団体)等の地域組織活動の支援を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	164,247
	児童手当給付事業	(Ⅰ) 家庭等における生活の安定や次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。 (Ⅱ) 児童手当を中学校修了前の児童64,650人の養育者に総額8,333,055千円を支給した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	8,333,055
創	子ども医療費助成事業	(Ⅰ) 子どもの健康保持及び増進に寄与するとともに児童福祉の向上に資する。 (Ⅱ) 通院分は小学校6年生まで、入院分は中学校3年生までの子どもを対象に、746,739件・1,642,489,615円の医療費を支給した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	1,642,490
	児童扶養手当給付事業	(Ⅰ) ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与することを目的とする。 (Ⅱ) 18歳到達の3月31日までの児童の受給者に総額1,976,620千円を支給した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	1,976,620
	母子・父子自立支援事業	(Ⅰ) ひとり親家庭等の生活支援や経済的自立支援を目的とする。 (Ⅱ) ひとり親家庭等を対象に身上相談に応じ、その自立に必要な相談指導や情報提供を行った(相談件数:2,158件) (Ⅲ) 継続して実施する。	15,760
創	奨学金給付貸付事業	(Ⅰ) 奨学金の貸付や給付を行い、将来社会に貢献し得る有為な人材を育成する。 (Ⅱ) 貸付53件23,640千円(うち返還一部免除型貸付17件7,920千円)、給付123件10,120千円を支給した。奨学基金への積立190千円。 (Ⅲ) 継続して実施する。	35,123
公創	倉敷北児童センター・西岡荘再整備事業	(Ⅰ) DB手法を活用して、施設の更新を効率的、効果的に実施する。 (Ⅱ) 民間事業者の募集、選定を行い、前払金291,720千円を支払うとともに、倉敷北児童センターの設計に着手した。 (Ⅲ) 西岡荘の再整備を含め、継続して事業を実施する。	297,277
	総合福祉会館建替事業	(Ⅰ) 老朽化した総合福祉会館及び倉敷児童館を解体し、複合施設として建替える。 (Ⅱ) 倉敷児童館・総合福祉会館有城荘部分の解体が完了し、新総合福祉会館(仮称)の建設工事に着手した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	513,909